

2024年4月25日

株式会社 千葉銀行

株式会社新日本三喜向け「ちばぎんSDGsリーダーズローン」の取組みについて

千葉銀行(頭取 米本 努)は、株式会社新日本三喜(代表取締役 藤城 英明、本社:千葉県浦安市)に対して、「ちばぎんSDGsリーダーズローン(サステナビリティ・リンク・ローン型)」を取り組みましたのでお知らせします。

「ちばぎんSDGsリーダーズローン」は、サステナビリティ経営を積極的に実践しようとする事業者さまが、事業規模や経営実態に合わせて有効な目標等を設定する融資制度です。

貸出先の株式会社新日本三喜は、同業のグループ会社である株式会社三喜と連携し、空調設備を中心に配管設備や電気設備、太陽光発電設備などの施工を行っています。株式会社新日本三喜は、「仕事に喜ぶ・人に喜ぶ・仲間に喜ぶ」を経営理念に掲げ、消費電力の少ない空調設備や太陽光発電設備の導入を積極的に提案するなど、省エネ機器や再生可能エネルギーの普及を通じて循環型社会の実現を目指しています。

今回、SDGs達成の取組みとして、株式会社新日本三喜と株式会社三喜の二酸化炭素排出量の削減目標、太陽光発電設備の累計発電容量の増加を策定しました。目標達成時には当行が金利を優遇することで、お客さまの目標達成に向けた動機付けを行い、お客さまのサステナビリティ経営を後押しします。

当行は今後もグループ一体となって、サステナブル・ファイナンスを提供することで、お客さまや地域社会のパートナーとして、社会・環境問題の解決に資する取組みを一層推進し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

【案件概要】

貸出先	株式会社新日本三喜	資金使途	運転資金
契約締結月	2024年3月	融資金額	100百万円
融資形態	証書貸付	第三者評価機関	株式会社ちばぎん総合研究所

【本件のSPTs^{※1}について】

設定内容	目標内容(各年度のSPTは下表の通り)
二酸化炭素排出量の削減率	2032年度までに2022年度 ^{※2} 比▲27.0%
太陽光発電設備の累計発電容量の増加 ^{※3}	2032年度末までに237,173kW

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度
CO ₂ 削減率	▲2.7%	▲5.4%	▲8.1%	▲10.8%	▲13.5%	▲16.2%	▲18.9%	▲21.6%	▲24.3%	▲27.0%
累計発電容量(kW)	135,122	146,461	157,800	169,139	180,478	191,817	203,156	214,495	225,834	237,173

※1 SDGs・ESG戦略における事業挑戦目標(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)

※2 2022年度(2022年10月~2023年9月)の二酸化炭素排出量実績27,7667(t-CO₂)

※3 2023年9月末までの太陽光発電設備の累計発電容量実績123,784kW

以上